



ロータリー：
変化をもたらす

越谷南ロータリークラブ

会 報

第2144回
2017.4.12

赤松会長テーマ：ひかり射し込む 会運営 みんなと共に

【点鐘】

【ロータリーソング斉唱】

【ゲストビジター紹介】

ゲストビジターはいませんでした。

【幹事報告】

石川幹事

① 国際ロータリー第2770地区

(チャリティーゴルフ・セミナー等) ポリオ募金集計

募金合計額 915,620

円 会員数 (7/1 現在) 2,536 人

1名当りの寄付額 約 361.04 円 越谷南RC (48名) 17,328 円の募金



② 国際ロータリー第2770地区 地区ローターアクト2017年～2018年度フェアトレード講演会開催の案内

日時：2018年5月19日(土) 19:00 講演開始
20:30 終了予定

場所：浦和コミュニティセンター第14集会室(浦和パルコ10F)

③ 国際ロータリー第2770地区

2018～2019年度RI理事指名委員会委員・補欠委員の報告
委員 2003～2004 田村 亮夫 パストガバナーが選出されました。

補欠委員 2005～2006 森田 武司 パストガバナーが選出されました。

④(再) 越谷南高等学校吹奏学部 第33回定期演奏会の案内

日時：平成30年5月3日(木・祝日) 13時～
場所：越谷コミュニティーセンター

【染谷会員より】

私事ですが、平成30年4月4日に母が死去しました。平成30年4月10日の通夜、平成30年4月11日の葬儀の際には弔辞を頂きまして有難うございました。母にはもっと長生きをして欲しかったのですが病気には勝てませんでした。皆様にはこの場をお借りしてお礼申し上げます。

【卓話】

赤松則宏会長

波乱万丈

① 幼少期

私は、1944年9月29日中国北京にて出生した。父は若くしてハルピンで軍服を作



る満蒙毛織(関東軍の配下)で手腕を發揮し、比較的高額な給与を基に近隣住民へ施しをしていたようだ。敗戦濃厚な中ソ連軍の進撃で多くの戦死者、更には捕虜として奥地へと消えていく中、親子四人は現地人の手厚い保護のもと港へ到着し引き上げの途についた。私は重度の栄養不足と発育不良と小児結核で生命の浮き沈みをし、母は私を海に水葬することを試みたが、生命力があった私は元気になり、帰国後三か月にて母、姉が結核にて死亡した。

その一年後に父はやはり戦争にて夫を亡くした女性と再婚した。相手には同じ年の女の子がいたが、その子を養女に出して嫁いできた。弟が誕生したころから、再婚相手の女性は私を虐待し、五才の頃から私を羽交い絞めにして背中にお灸を四か所に据え泣き叫ぶ私を横目に見ながら微笑んでいた。あまりの鳴き声に警察が来ても教育と称し——父は私に代わり後妻に暴力を振るい、後妻は実家に逃げ帰りまた戻り私に暴力と——このような繰返であった。

6歳ごろの私は、昼間上級生の手先となり養鶏場のタマゴや飼犬の鎖を盗んで売り払いこずかいを稼いでいた。岡山にて学生服の製造事業を行っていた祖父は哀れな私を思いばらばらな家族を呼び寄せ岡山での生活がスタートした。

神戸から岡山駅に到着した昭和28年1月 祖父、祖母は外車のクライスラーで私を出迎えた。

その年2月に新しい小学校の門をたたいたが、身長は96センチでクラスでは小人とのあだ名で呼ばれ、いじめにあい、家庭では後妻さんが私に対して以前よりまして暴力が強くなった。反撃の為中学で柔道部に入り夏合宿が終わった日後妻を払い腰で投げ飛ばし、高校卒業まで一度も口を利くことなく過ごした。高校での生活は停学2回無期停学1回をくらったが器械体操部のレギュラーであったため退学処分を逃れた。当時としては稀に見る荒れ果てた生活をしていた。

② わが赤松家は、ヤフーで赤松三朴と検索すれば掲載され

ているが、その歴史は古く後醍醐天皇が山陽道を巡幸された時、護衛として警護に当たりその褒章として、家紋の左三つ巴若しくは菊の16葉の何れかの使用を許されたが、当時の先祖は左三つ巴を選択した。この事が明治初期の文献に記載されている。

祖父は岡山及び西日本でも有数な織物工場を運営していた。1万坪の土地で女工さんが2000人と言う工場で、昭和23年5月に岡山ロータリークラブに入会している。

- ③ わが一族は全員高学歴を有しているが、荒れ果てた生活を強いられていた私は、逃げるように東京横山町の繊維問屋に就職した。勿論祖父の稼業を引き継ぐ目的であった。

入社一年目は、荒れ果てた生活が基盤となり頭角を現し二年目の昭和39年販売部に配属された。しかし憧れの販売部も一日で降格となった。その理由は、茨城九十九里の得意先の住所を、漢字が分からないため、ひらがなで、「いばらぎ」として算用数字で「999」とした伝票を作成したのである。そのことが一夜にして社内に広がり、鳴り物入りで入社した岡山の御曹司は馬鹿なヤツだと、その夜寮の屋上に呼び出されて、布団を被せらボコボコにされた。まもなく祖父の会社が倒産する。

- ④ その翌日から、勉強をして来なかった事に後悔をし、馬鹿を返すため自らに対して猛攻撃を開始した。それは大学へ進学したいと三年計画を立て寝静まっている寮で早朝五時半に起床し、日本経済新聞の解説のため国語辞典、漢和辞典更には経済新聞用語辞典を基にスタートした。昭和40年2月、41年2月の受験は最低ランクの大学でも不合格であった。残り一年しかなくなり夜間代々木ゼミナールへ通学した。公開試験はいつも2500分の2200番前後を昭和41年12月まで——予備校より君は残念だが大学をあきらめ他の方向へ進路を変えるよう言われたが、翌年の昭和42年1月15日文科系最後の公開試験でなんと2000人の中上位188番で天下を取った気分だった。代々木ゼミは私に対して推薦状を手渡した。二月四日日本大学商学会計学科を受験した。合格発表にはその名はなく、別途速達にて本学部は貴君に勉学の意思があると認定し特別に入学を許可するとの通知を受け取った。馬鹿と利口は紙一重と言うが、もともと頭の中が白紙状態の私は学ぶものすべてを吸収するのにも束の間一年の九月より大学闘争となり校舎が占拠され学園閉鎖となった。私は日々学生課へ出入りをしていたので大学よりバリケード解除の相談を受け、そのための一切の指揮権をもらい全学部より体育会系の荒くれもの1500人を集め、軍手、中細のロープ一本300メートル100本、おにぎり3000個等を準備し解除を完了させた。まさに昭和43年10月のことであった。解除の二日前に学生課と協議し占拠している学生たちの身分を保証させた。その一か月後、経済学部本部より功労者として表彰と金一封との話を辞退した。

- ⑤ 後妻さんが娘を養女に出した先は、葛飾区お花茶屋の共栄女子学園（春日部共栄）

- ⑥ 私の人生は、虐待されていた頃から、自ら這い上がる、戦う、怖いものは無いと言い聞かせ現在まで生きながらえている。
- ⑦ この数年で40年連れ添った家族の全てを失い、相続人も無く私が生きる道は、この這い上がる根性が新しい家族と生活することであると決断したのである。

【スマイル報告】

お陰様で		
スマイル	28件	50,000円
累計		1,453,352円

ありがとうございます。

【出席報告】

例会日	平成30年4月12日		
会員数	51名	出席	29名
出席免除者	6名	欠席	16名
出席率	64%	前々回MU	名
MU修正率	100%	会報担当：木佐	

————— クラブプロフィール —————

【姉妹クラブ】 国際ロータリー第3460地区
台中南区扶輪社（中華民国台中市）

【友好クラブ】 国際ロータリー第2520地区
宮古東ロータリークラブ

【例会日】 毎週木曜日（PMO：30～1：30）

【例会場・事務局】 〒343-0842
越谷市蒲生旭町10-14 中野ビル2階
TEL 048-987-5761
FAX 048-987-5762
E-mail info@koshigayasouth-rc.jp